

科目ナンバー： MmC3031

授業コード： 6630300500

講義科目名称： 助産学概論

英文科目名称： Introduction to Midwifery

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	2単位	助産師必修
担当教員			
◎増澤祐子、常盤洋子			
添付ファイル			

授業種類	【開講】 前期	【授業時間】 30時間		
	【担当教員】			
	【氏名】 ◎増澤 祐子 常盤 洋子	【所属】 新潟県立看護大学 新潟県立看護大学	【研究室】 311 320	【メールアドレス】 masuzawa@niigata-cn.ac.jp yotokiwa@niigata-cn.ac.jp
	【本学の科目区分】 専門分野			
	【DP1】 【DP2】 【DP3】 【DP4】 【DP5】			
	研究 CNS 助産	◎	○	○
		○	○	○

到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 助産の概念（助産・助産師の定義、助産の意義）を述べることができる。 2. 助産師の役割と責務と助産援助の展開を述べるができる。 3. 助産実践の基盤となる理念と理論、助産の対象者を理解するための理論を説明することができる。 4. 助産師の専門性と職業倫理を述べるができる。 5. 助産師の業務上の態度とアイデンティティ、助産観について考えを述べるができる。
------	---

授業概要	助産の概念と意義、助産の歴史と母子保健の変遷、助産師教育の変遷、助産師の専門性と職業倫理など自律的に助産を実践するための知識を深め、時代に適応した助産師の役割と責務について学修する。さらに助産実践の基盤となる理論や助産学研究についての理解を通して専門的自律能力を発揮して自律的な助産が実践できる能力と助産師としてのアイデンティティを獲得する。
------	---

授業計画	1	<p>授業内容</p> <p>講義形態：講義</p> <p>学修課題：助産の概念</p> <p>学修内容：助産・助産師の定義、助産の意義と助産師の活動</p> <p>事前学修：授業内容についてテキストを読み、授業に臨む</p> <p>事後学修：助産・助産師の定義、助産の意義についての知見の整理</p> <p>備考：常盤</p>
	2	<p>授業内容</p> <p>講義形態：講義</p> <p>学修課題：助産師の役割と責務</p> <p>学修内容：助産ケアの実践における助産師の役割と責務</p> <p>事前学修：授業内容についてテキストを読み、授業に臨む</p> <p>事後学修：助産師の役割と責務についての知見の整理</p> <p>備考：常盤</p>
	3	<p>授業内容</p> <p>講義形態：演習</p> <p>学修課題：助産実践の基盤、助産の対象者を理解するための理念と理論（1）</p> <p>学修内容：助産ケアの基盤となる理論（女性中心のケア、家族中心のケア）、助産師が行うケア（セルフケア、アタッチメント、母親役割、出産体験、危機、家族移行）の文献検討</p> <p>事前学修：助産実践の基盤、助産の対象者を理解するための理念と理論の文献を読む</p> <p>事後学修：助産実践の基盤、助産の対象者を理解するための理念と理論と臨床活用を考察する</p> <p>備考：常盤</p>
	4	<p>授業内容</p> <p>講義形態：発表</p> <p>学修課題：助産実践の基盤、助産の対象者を理解するための理念と理論（2）</p> <p>学修内容：助産ケアの基盤となる理論（女性中心のケア、家族中心のケア）、助産師が行うケア（セルフケア、アタッチメント、母親役割、出産体験、危機、家族移行）の臨床活用</p> <p>事前学修：助産実践の基盤、助産の対象者を理解するための理念と理論について発表資料を作成する</p> <p>事後学修：助産実践の基盤、助産の対象者を理解するための理念と理論の臨床活用について考察する</p>

5	<p>備考：常盤</p> <p>授業内容</p> <p>講義形態：講義</p> <p>学修課題：助産の歴史</p> <p>学修内容：歴史に学ぶ助産師の役割と責務</p> <p>事前学修：助産の歴史についてテキストを読み、授業に臨む</p> <p>事後学修：歴史的な変遷を踏まえ助産師の役割と責務についての知見の整理</p> <p>備考：常盤</p>
6	<p>授業内容</p> <p>講義形態：講義</p> <p>学修課題：助産師教育の変遷 (1)</p> <p>学修内容：助産師教育の変遷から見えてくる助産師の役割とカリキュラムの変遷</p> <p>事前学修：助産師の役割とカリキュラムの変遷についてテキストを読み、授業に臨む</p> <p>事後学修：教育の変遷を踏まえた助産師の役割についての知見の整理</p> <p>備考：常盤</p>
7	<p>授業内容</p> <p>講義形態：演習</p> <p>学修課題：助産師教育の変遷 (2)</p> <p>学修内容：社会背景を踏まえた助産師の役割と助産師教育のカリキュラムの課題</p> <p>事前学修：社会背景と助産師教育のカリキュラムに関する知見を整理する</p> <p>事後学修：助産師教育のカリキュラムの課題について検討する</p> <p>備考：増澤</p>
8	<p>授業内容</p> <p>講義形態：発表・討議</p> <p>学修課題：助産師教育の変遷 (3)</p> <p>学修内容：社会背景を踏まえた助産師の役割と助産師教育のカリキュラムの課題の検討</p> <p>事前学修：社会背景と助産師教育のカリキュラムに関する課題について発表資料を作成する</p> <p>事後学修：助産師教育のカリキュラムに関する課題に関する知見の整理</p> <p>備考：増澤</p>
9	<p>授業内容</p> <p>講義形態：講義</p> <p>学修課題：助産師の専門性と業務</p> <p>学修内容：助産師の定義と職分、助産師の専門職性の発揮</p> <p>事前学修：助産師の定義と職分、助産師の専門職性についてテキストを読み、授業に臨む</p> <p>事後学修：助産師の専門性と業務の知見の整理</p> <p>備考：増澤</p>
10	<p>授業内容</p> <p>講義形態：演習</p> <p>学修課題：助産師の職業倫理 (1)</p> <p>学修内容：医療訴訟に見る助産師の責任</p> <p>事前学修：助産師の関わる医療訴訟について検索する</p> <p>事後学修：医療訴訟と助産師の職業倫理について考察する</p> <p>備考：増澤</p>
11	<p>授業内容</p> <p>講義形態：発表・討議</p> <p>学修課題：助産師の職業倫理 (2)</p> <p>学修内容：医療訴訟に見る助産師の責任についての討議</p> <p>事前学修：医療訴訟と助産師の職業倫理について発表資料を作成する</p> <p>事後学修：医療訴訟と助産師の職業倫理に関する自身の知見の整理</p> <p>備考：増澤</p>
12	<p>授業内容</p> <p>講義形態：演習</p> <p>学修課題：国内外の助産師活動 (1)</p> <p>学修内容：国内外における助産師活動の実践と課題の検討</p> <p>事前学修：国内外での助産師の活動について検索する</p> <p>事後学修：国内外での助産師の活動とその課題について考察する</p> <p>備考：常盤・増澤</p>
13	<p>授業内容</p> <p>講義形態：発表・討議</p> <p>学修課題：国内外の助産師活動 (2)</p> <p>学修内容：国内外における助産師活動の実践と課題についての討議</p> <p>事前学修：国内外での助産師の活動とその課題について発表資料を作成する</p> <p>事後学修：国内外での助産師の活動とその課題に関する自身の知見の整理</p> <p>備考：常盤・増澤</p>
14	<p>授業内容</p> <p>講義形態：演習</p> <p>学修課題：助産師のコアコンピテンシーと助産観</p> <p>学修内容：助産師のコアコンピテンシーと助産師のアイデンティティ</p> <p>事前学修：助産師のコアコンピテンシーについての知見の整理</p> <p>事後学修：助産師のコアコンピテンシーと自身の助産観の考察</p> <p>備考：常盤・増澤</p>
15	<p>授業内容</p> <p>講義形態：発表・討議</p> <p>学修課題：助産師のコアコンピテンシーと助産観</p> <p>学修内容：助産師のコアコンピテンシーと助産師のアイデンティティ</p> <p>討議：「今の時代における助産師の役割、助産師のアイデンティティを形成する要素とその獲得、自らの考える助産観と、入学して半年間で変化した助産観」</p> <p>事前学修：助産師のコアコンピテンシーと自身の助産観についての発表資料作成</p> <p>事後学修：討議を踏まえた自身の助産観についての考察</p> <p>備考：常盤・増澤</p>

事前・事後学習	
評価方法、評価基準	到達目標 1～5 に対して、レポート50%、発表・討議50%で評価する。 レポート課題 「現代に求められる助産師の役割と責任・私の助産観」について、あなたの考えを論じなさい。A4 2枚（表紙を除く）。
テキスト	参考図書を参考に準備すること
参考図書・資料等	工藤美子（責任編集）（2026）：助産師基礎教育テキスト 2026年版 第1巻 助産概論・母子保健，日本看護協会出版会. 我部山キヨ子・安達久美子（編）（2022）：助産学講座 1 基礎助産学 [1] 助産学概論，医学書院.
受講、課題、資料配布等のルール	欠席の場合は必ず担当教員に30分前までにメールで連絡すること 講義資料はどこカレにPDFで提示する 発表資料はどこカレに提出すること 発表・討議は学生が進行すること
教員からのメッセージ	講義内容は、助産師基礎教育テキスト、助産師国家試験出題基準、助産師国家姿年問題集で確認する。 授業を通して、助産師の役割と責務、助産師としてのアイデンティティについて思考を深めることを期待する。
オフィスアワー	随時対応（メール調整）。